



すぎのこつうしん

平成30年1月 古川東町カトリック保育園



「あいさつが素直にできる心を育みましょう」

明けましておめでとうございます。平成30年の幕が開けました。昨年の12月のクリスマス祝会でたくさんの応援をいただき、子ども達も堂々と演技を披露し、たくさんの感動をもらいました。一人一人の成長に驚くことと嬉しく思います。

1月の目標が「あいさつが素直にできる心を育みましょう」です。登降園時、保護者の皆さんが、クラスの分け隔てなく明るく挨拶を交わし合っている姿を見ると、いつも素敵な光景だと感心させられています。

挨拶をするにあたっての大事な「あいさつ」があります。「あかるく！いつでも！うつくしく！えがおで！おさきに！」と言うそうです。

「あ」…あかるく！

暗い表情で挨拶されても相手は気持ち落ち込みます。

「い」…いつでも！

自分自身におもしろくないことがあっても、他の人には分かりません。おもしろくないからと関係のない人に挨拶をしないのはおかしいですね。

「う」…うつくしく！

子どもは子どもなりの無邪気な挨拶、大人は大人としてのお互いの人格を尊重した心からの挨拶。

「え」…えがおで！

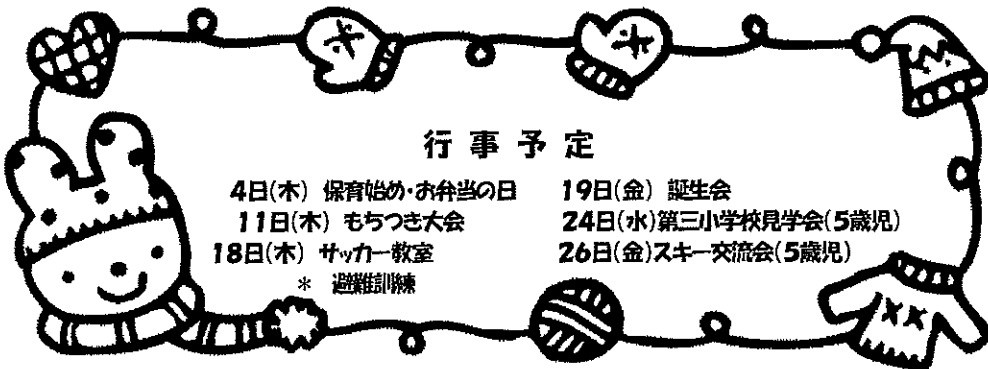
笑顔お心に安らぎを与えてくれます。

「お」…おさきに！

これがなかなか出来ない人も多いのでは。相手に言われてからするのではなく、自分から先に挨拶をすることが大切です。

挨拶は初めと終わりの大切な言葉です。清潔しい気持ちで始まり、やり越したという安心感と満足感でしめたいですね。毎日を笑顔で過ごせるように努めたいと思います。

< 園長 平野義子 >



行事予定

4日(木) 保育始め・お弁当の日

11日(木) もちつき大会

18日(木) サッカー教室

* 避難訓練

19日(金) 誕生会

24日(水) 第三小学校見学会(5歳児)

26日(金) スキー交流会(5歳児)



1月生まれのおともだち

おたんじょうび おめでとう！！

1月のうた



愛をください

1. イエさま私に いつでも笑顔を あふれる感謝を ゆるせる心を
どんなときでも どんなひとにも あたえる愛を 愛をください！
2. イエさまわたしに いつでも自由を かわらぬ友情を すなおなこころを
どんなときでも どんなひとにも あたえる愛を 愛をください！

コンコンクシヤンのうた

1. いすさんがマスクした ちいさいちいさい ちいさいちいさいマスクした コンコンコンクシヤン
2. つるさんがマスクした ほぞいほぞい ほぞいほぞいマスクした コンコンコンクシヤン
3. ぶうちゃんがマスクした まるいまるい まるいまるいマスクした コンコンコンクシヤン
4. かばさんがマスクした おおきいおおきい おおきいおおきいマスクした コンコンコンクシヤン
5. ぞうさんがマスクした なかいなかいい なかいなかいいマスクした コンコンコンクシヤン



おとうさん・おかあさんから

早いもので、来年の4月にはランドセルを背負った新一年生(予定)のひつじ組の〇〇〇〇です。〇〇は1月12日生まれて、保育園に通わせたのがその年の4月でした。はじめは、まだ幼いうちから集団行動をさせるという不安もありましたが、日を追うごとに、安心へと変わっていききました。園長先生や給食の先生方ははじめ、保育士の先生方には大変感謝申し上げます。あいかとうございます。〇〇は大きく育っております。まだまだ失敗をしてしまうことが多いと思いますが、「母なる心」でご指導下さい。残りわずかなカトリック保育園での生活が、〇〇の人格形成において、素晴らしいものとなることを願うばかりです。

< ひつじ組 〇〇〇 〇〇〇ちゃんのお父さん >

〇〇は、保育園での出来事を毎日笑ったり、泣いたりたくさん話してくれました。おしゃべりやアクションも一丁前で、お友達との会話をこっぞい聞いて、笑わせてくれました。運動会やクリスマス祝い会では、泣いてしまい上手に出来ない事もありましたが、年長さんになった今年、恥かしがりながらも上手に様子表現してくれた姿は、思わず涙が出るほどうれしく、すこく成長したなぁと感じさせられました。入園時にはできなかったことが、とんとんできていく大切な時期を先生方に見守っていただけたこと、心より感謝しております。ありがとうございました。卒園までよろしくお願ひします。

< ひつじ組 〇〇〇 〇〇〇ちゃんのお母さん >



○ぼんび組(0歳児)

〈ねらい〉

- ・色々な挨拶に触れ、動作や言葉で表すことを知る
- ・冬ならではの遊びを楽しみ、元気に過ごす

〈家庭連携〉

- ・ゆっくり、はっきりと話すことで動作や言葉にして真似しやすようにし、楽しく挨拶ができるようにしましょう。
- ・戸外で遊ぶ機会をもち、雪遊びなど冬ならではの遊びを楽しみ健やかに過ごせるよう心掛けましょう。

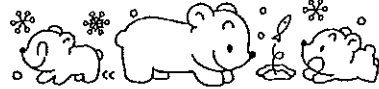
○ひよこ組(1歳児)

〈ねらい〉

- ・挨拶を言葉や動作で表そうとする
- ・冬の事象に興味を持ち、遊ぶ

〈家庭連携〉

- ・目と目を合わせて笑顔で挨拶を交わし合うことで、気持ち良く行えるようにしましょう。
- ・スキーウェア、スノーブーツ、スノー手袋、帽子等を用意することで寒さから身を守り、十分に雪遊びを楽しむようにしましょう。また、一緒に雪遊びを楽しみましょう。



○ことい組(2歳児)

〈ねらい〉

- ・生活の中の様々な挨拶を知り、行う
- ・冬の自然に触れながら、戸外で伸び伸び遊ぶ

〈家庭連携〉

- ・「おはよう」「いただきます」など、生活の中の挨拶をお子さんの目を見て行いましょう。また、正月の挨拶も知らせましょう。
- ・体調の良い日は外気に触れ、寒さに負けない健康な体を作りましょう。



○こねこ組(3歳児)

〈ねらい〉

- ・親しみをもち、明るく挨拶をする
- ・正月遊び、伝承遊びを通して数や形、文字に興味をもつ

〈家庭連携〉

- ・家庭でも目を見て明るく挨拶を交わし、挨拶をすることの気持ち良さを味わえるようにしましょう。
- ・かるたやすごろく等正月の伝承遊びを一緒にすることで、数や文字に興味をもてるようにしていきましょう。



○うさぎ組(4歳児)

〈ねらい〉

- ・人との関わりの中で自ら進んで挨拶をする
- ・冬の自然や遊びに興味をもち、意欲的に関わろうとする

〈家庭連携〉

- ・誰にでも元気に挨拶ができるように、手本となって挨拶をし、交わす喜びを感じ合ひましょう。
- ・冬の自然事象に驚いたり、発見する子どもたちに共感してあげましょう。また、家でも日本ならではの遊びを子どもたちと一緒に楽しみましょう。

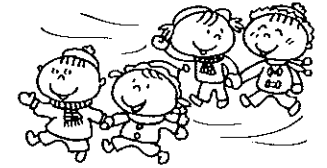
○ひつし組(5歳児)

〈ねらい〉

- ・挨拶を交わし合う喜びや心地良さを感じる
- ・遊びや生活を自分達で進めていく中で、友達と相談したり協力したりする

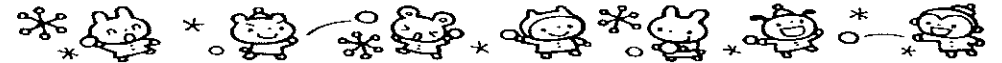
〈家庭連携〉

- ・相手の目を見て挨拶することを日常の中で知らせていきましょう。
- ・風邪やインフルエンザなどが流行する時期なので、手洗いやうがいをきちんと行うよう声掛けをしたり、生活リズムを整えていきましょう。



○給食室

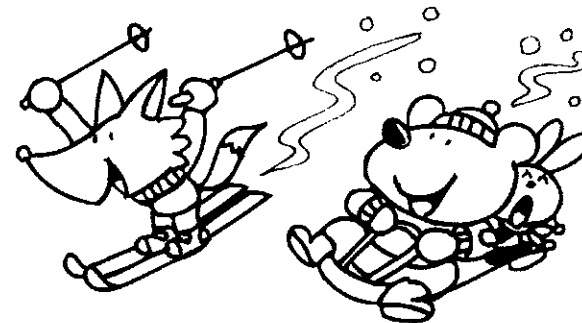
- ・インフルエンザや風邪、ノロウイルスなど体調を崩しやすい季節です。好き嫌いせず何でも食べ、早寝早起きし生活リズムを整え、十分休息を取りましょう。

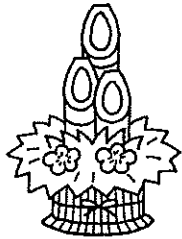


「挨拶が素直にできる心を育みましょう」

「せんせいおはよう！」と笑顔で駆け寄ってくる子どもたちの挨拶から、いつもパワーを与えてもらっています。保育園で、毎日子どもたちと挨拶を交わす中でも、年齢が大きくなるにつれて、子どもたちの方から挨拶をしてくれることが増えてきました。「おはよう」「こんにちは」「さようなら」など、人との関わり、出会いの中で様々な挨拶が交わされていますが、相手がいるからこそできる挨拶は、人と人を繋ぐ大切なコミュニケーションだと思っています。子どもたちにこれからも挨拶の仕方、大切さを日常の中できちんと知らせていきたいです。

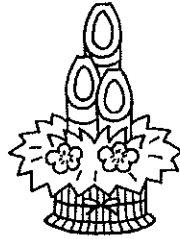
〈ひつし組担任 三浦 史織〉





あなたの一分間拝借

明けましておめでとうございます
皆様の上に神の御祝福が豊かにありますように！



2018年1月の人間性教育目標は、「挨拶が素直にできる心を育みましょう」をテーマにしております。「あいさつ」は、人間が人間らしく生きるために必要な基本的姿勢です。挨拶なしに始まる一日は人間らしさを失った一日となり、自己中心的生活の道を知らず知らずのうちに歩み、明朗性が乏しくなり、自分の居場所がいさくなり、暗い人生を余儀なくされるものです。挨拶の仕方ひとつで人生は変わります。家庭も、職場も、学校も、社会全体が明るくなるのです。それも機器による挨拶ではなく、生（なま）の挨拶こそ血の通った最高の宝であるといっても過言ではないと思います。これはあなた自身の刷新によってのみ実現できる神秘であるだけに、新年にあたりこころを鬼にして精進したいものです。

お別れの時の挨拶を英語でgood-byeと云いますが語源的にはGod be with ye!が短縮されて出来た言葉で、その意味は「神があなたと共にいますように！」ということで、とても尊い願いを込めた別れの言葉であることを知り、すごいなあと思います。私たちはそんな意味も考えもせずに「bye, bye!」「バイバイ」といっておりますが、...

聖書の民イスラエル民族は、挨拶の言葉を「シャーロム！」と云って互いに挨拶します。これまた「主の平和がありますように！」という意味の言葉で日々を暮しているのです。イスラエルに旅した時、バスの運転手さんに「シャーロム」と挨拶したら、「シャーロム」と笑顔で応えてくれたことを思い出します。挨拶にも深い意味が秘められていることを大切に、互いに挨拶できる人間に育まれていくように一月の日に精を出そう努力いたしましょう。因みにイエス様が誕生された時、天使たちが世界中のすべての人々に与えた挨拶は今でもこれからも世の終わりに至るまで、人々の心に歌い続けられることでしょう。

「天には、神に栄光、地には神の御心に適う人々に平和あれ！」

保育所の所長研修会での出来事を思い出します。招かれた講師教育長が開口一番大きな声で「皆さんお早うございます」と挨拶されたのですが誰もそれに応えて「お早うございます」と言う人がいませんでした。教育長からお叱りを頂戴したことは当然でした。「あなたがたは子ども達に挨拶を教える立場にある保育所所長が挨拶一つ蔑（ないがし）ろにして、どのようにして子ども達に挨拶を教えるのですか？無い袖は振れぬと言いますが、どなたか教えてくれませんか？」と一本取られたことを心に銘記した次第です。教育とは教えることだけでなく、学び合うことであることを忘れた所長さん達でした。自重自戒ものでした。或小学校の校長先生は、子ども達に挨拶励行するために、自ら校門に立って登校する一人ひとりに「お早うございます」とお辞儀をしながら礼節を教育に基本として毎日行ったということを知り感動したものです。「一日は礼によって始まり礼によって終わるものなり」ということなのです。教育者の模範ですね。

「挨拶」の「挨」は「ひらく」とか「互いに近づく」ことを意味します。「拶」とは「せまる」という意味で、まさに心を開いてお互いを分かち合う「しるし」なのです。

挨拶の意味の気高さを尊重し、私たち大人が正しい挨拶の模範を示し、その表し方一つで人間性、人格の品位が問われるものであることに自覚め、2018年の新たな旅立ちに備え、心機一転カトリックならではの保育に力を注ぎたいものです。

カトリック古川教会
司祭 川井 啓

